

## 日吉学区防災プロジェクト「プロジェクトH」



### 【日吉学区】

■世帯数：4,202 世帯

■人 □：8,390 人

■面 積：0.855 k m<sup>2</sup>

平成 24 年 4 月 1 日現在

### 1 活動・取り組みの内容

災害時における「死者〇火災〇」を目標とする継続的な防災活動を実施。主に日吉小学校を会場とする。延べ参加者数は約 1,000 人。

#### ① 災害図上訓練D I G

地域で大きな災害が発生した場合を想定し、地図への書き込みを通じて参加者が積極的な災害への対策を考えることができる防災訓練

#### ② 日吉学区救出希望カード

地震等の災害により家屋が倒壊した場合の救出作業に必要な基本情報（普段寝ている場所と道路との位置関係など）の調査

#### ③ R2（あるある）パック（レスキュー&リサイクル）

持ち寄ったリサイクル用品で非常持ち出し防災用品の作成、再配付

#### ④ 青年会議所・日吉学区共同避難訓練

### 【住民へのPR方法】

チラシの各戸配布、回覧、掲示板への掲示

### 【アピールポイント】

活動内容が認められ、平成 17 年に総務省「第9回まちづくり大賞・消防科学総合センター理事長賞」、平成 18 年に全国防災フェア名古屋大会「審査員特別賞」、平成 19 年に同京都大会「表現賞」と、3年連続で受賞している。

## 2 きっかけ、背景

平成 12 年5月に防災安心まちづくりモデル学区に指定される。平成 12 年より「プロジェクトH」と総称する多種多様な防災まちづくり活動を開始した。平成 13 年に日吉学区防災安心まちづくり委員会を発足した。

## 3 実施の体制

### (1) 運営メンバー

区政協力委員、民生児童委員、保健委員、消防団員、PTA、女性団体・女性会、子ども会、老人クラブ、防災委員、体育部員、防犯委員、少年補導委員 計約 200 人

### (2) 他団体との協力

NPO 法人レスキューストックヤード、名古屋青年会議所

### (3) 運営協力

学区連絡協議会各役員

## 4 実施のスケジュール

|               |                           |
|---------------|---------------------------|
| H24 年<br>9月9日 | 青年会議所支援による小学生中心の学区防災訓練を実施 |
|---------------|---------------------------|



|         |                                  |
|---------|----------------------------------|
| 7月 14 日 | 1 町内の子どもたちによる9月 9日を想定した模擬紙上訓練を実施 |
|---------|----------------------------------|



|         |                                                          |
|---------|----------------------------------------------------------|
| 8月 26 日 | 消防局出前講座「南海トラフト名古屋港は 日吉学区は」の開催<br>(特に小中学生及び高校生に受講を呼びかけた。) |
|---------|----------------------------------------------------------|



|      |                                       |
|------|---------------------------------------|
| 9月9日 | 青年会議所・日吉学区共同避難訓練を実施<br>(例年になく大掛かりな訓練) |
|------|---------------------------------------|

## 5 成果と課題

### (1) 成果・効果

- 子どもが多数参加し、防災意識が高まった。将来の地域ボランティアとしての活動に期待している。

### (2) 苦労した点

- 参加者の確保のために、学区内住民全体への回覧と子ども会加入世帯への回覧、声かけを行っている。
- 役員へ活動への理解と協力を呼びかけた。

### (3) 今後の課題・展望

- 大災害が起こるまでの高い意識の継続・持続。活動資金の確保(炊き出しには経費がかかる。)、備蓄物の入替えも若い世代や他団体との協力・支援が必要。

### (4) メッセージ・アドバイス

- 防災活動を指導できる立場の方に積極的に関与してもらうために、運営側である各種団体の役員に対する啓発が大切です。